



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日以降にバイオバンクにご同意いただいた方、および「脳脊髄液中の睡眠・覚醒関連物質であるオレキシン等の測定研究」にご同意いただいた方でナルコレプシーの疑いのある方

【研究課題名】

脳脊髄液中の睡眠・覚醒関連物質であるオレキシン等の測定研究

【研究代表者】

神林 崇（筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構）

【本研究の目的及び意義】

睡眠や覚醒の障害をきたすナルコレプシーではオレキシンという物質が脳脊髄液で低下することが分かってきました。本研究ではナルコレプシーの可能性のある方の脳脊髄液中のオレキシン濃度を調べ、検査としての有用性を検討します。

【本研究に提供する試料・情報】

髄液

性、年齢、診断および睡眠障害に関連した症状（睡眠尺度など）

提供する試料の取得の方法：バイオバンクにおいて広範な同意を得て収集した試料、および本研究にご同意いただいた試料・情報

【研究期間】

研究開始日～2030年12月31日

【研究を開始する日】

2024年8月頃を予定しています。

【試料・情報等扱う機関】

なし

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520

E-mail: biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更ください)